

「鯨っ子学習」のすゝめ

(15 時間程度)

—教師用—

次の課題の設定

課題の設定(2時間程度)

- ・児童は、「課題ストック」を基に本当に探究したい課題を設定する。
- ・課題をもとに「問い」をもつ。
- ・児童は、課題に対する仮説(予想)を立てる。
- ・児童は、まとめ・表現までの見通しをもって探究を始める。
- ・教師は、まとめ・表現で行うパフォーマンスの姿を示し、児童ゴールを意識して学習を進めることができるようにする。

まとめ・表現(5時間程度)

- ・児童は、相手意識や目的意識を明確にしてまとめたり、表現したりすることで、情報を再構成し、自分の課題に対して考察する。
- ・児童は、課題の設定での仮説と学習を経て得られた結論について文章で考察する。
- ・児童は、新たな課題を見つけ、自主学习等でさらに探究していく。
- ・教師は、まとめ・表現の方法を選択して行えるようにする。
- ・教師は、各教科等で身に付けた表現方法を活用できるようにする。
- ・教師は、児童のまとめ・表現の姿や成果物を記録として残しておく。

□まとめ・表現の例

- ・意見文 ・提案文 ・レポート ・新聞 ・パンフレット ・ポスター 等

日々の授業

- ・児童は、「課題ストック」を貯める。
- ☆「課題ストック」とは…
- 「もっと知りたい」「もっと調べたい」という一人一人の興味・関心に基づく課題。既習の学びや日頃の授業(単元)の振り返りにて、ノートやワークシート、タブレット型端末等に貯めておく。

情報の収集(4時間程度)

- ・児童は、各教科で身に付けた資質・能力を発揮して情報を収集する。
- ・児童は、観察、実験、見学、調査、探索、追体験等の学習活動を基に、課題の解決に必要な情報を収集する。
- ・教師は、情報の収集の方法に応じて必要なサポートをする。

□情報の収集の例

- ・アンケート ・インタビュー ・手紙 ・電子メール ・電話 ・本
- ・インターネット ・観察 ・実験 等

整理・分析(4時間程度)

- ・児童は、収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして情報を整理し、分析する。
- ・児童は、朝の「思考スキル」で用いた思考ツールや各教科等で身に付けた力を発揮する。
- ・課題の設定においてもっていた「問いに対する答え」をまとめる。
- ・教師は、論理的に結論を導けるようにする。

□整理・分析の例

- ・地図 ・グラフ化 ・統計的手法 ・KJ法 ・コンセプトマップ
- ・ランキング表 ・ロジックツリー ・座標軸 ・クラゲチャート
- ・ベン図 ・KWLシート ・ピラミッドチャート(具体化、抽象化) 等